

(浅科中学校だより【校長室より】)



志高錬成

志を高くもち、よりよい成果を得るために、ねばり強く、自分を鍛える

令和元年度

第7号

R元. 10. 21

佐久市立浅科中学校

平成31年度 全国学力・学習状況調査について ～分析結果から見える本校の傾向と取組～

本校の生徒の学習の傾向などを分析しましたので、今後の取組と含めてお伝えします。本年度は例年とは大きく調査形式が変わり、国語・数学のA問題（基礎問題）とB問題（活用問題）は統一され、3年ぶりに実施された英語については「聞くこと、読むこと、書くこと」の調査に加えて「話すこと」の調査が行われました。対象は三年生です。また、生徒の学習状況を調査するための質問も併せて実施されています。

本校では、いずれの教科においても領域や問題形式によって理解の差が大きいことから、成績分布表ではピークが二つに分かれており、平均正答率は国・県の値をやや下回る結果になりました。そこで、理解が比較的できている点（◇）と課題のある点（◆）の分析をした本校の傾向と今後の指導の方向（各教科主任に出してもらいました）、および生徒の学習状況などを示させていただきます。

【国語】

◇文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつことはできている。

◇書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することはできている。

◆文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことや、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。

◆封筒の書き方を整理し、文字の大きさや配列などに注意をして書くことに課題がある。

《今後の指導の方向》

○語句がその文章でどのような意味で使われているか、意味調べをして確認させる。

○説明的な文章や文学的文章については、全体を捉えつつ構成を意識して読んでいく技能を育成する。

○短作文を書く機会を増やし、あわせて推敲力を身につけさせる。

【数学】

◇資料の活用において、簡単な場合について確率を求めることができている。

◇図形において反例の意味を理解している。

◆関数において、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

◆数と式において、与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることに課題がある。

《今後の指導の方向》

○選択問題や計算問題の無回答者は非常に少ない。しかし、説明問題になると無回答者が増えている。このことから問題を解こうという意欲はあると思われるので、基礎的な問題でも「なぜそうなるのか」を大切に説明を書くことの機会を増やしていく。

○授業の最初に既習事項の問題演習（5問）を実施しているが、間違った問題についてさらに丁寧に支援をしていく。

【英語】

◇「聞くこと」について、日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることはできている。

◇「読むこと」について、日常的な話題について、情報を正確に読み取ることはできている。

◆「書くこと」について、語や文法事項等を正しく用いて、文を書くことに課題がある。

◆「読むこと」について、社会的な話題について、読んだ後に自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを主体的にとらえることに課題がある。

◆「話すこと」について、自分の意見を話そうとする意欲は感じられるものの、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。

《今後の指導の方向》

「書くこと」

○3年生では、授業の5分間を使って基本文260文のドリルを行うことで、文法事項の復習に8月から取り組んできている。

○1・2年生では、授業の中で基本文に関わる対話活動の後に、英文で書く練習時間を確保して、正しく書くことに今後一層力を入れていく。

「読むこと」

○繰り返し読む（多読）のみにとどまらず、QA、TFを位置づけ英文を読む（精読）。

「話すこと」

○small talk や pair talk の積み上げ後、発表する場面や機会を大切に位置づけていく。

【生徒質問紙】

「人の役にたつ人間になりたい」と思う生徒の割合は97%に及び、将来の夢や目標を「持っている」という生徒の割合も高い傾向にあります。しかしながら、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦することや家庭学習を含めた学ぶことへの意欲のある生徒の割合は低い傾向にあります。そこで、各教育活動をキャリア教育の視点からも捉え直し、生徒たちが自己肯定感や自己有用感、コミュニケーション力を高められるよう進めていきたいと考えています。

また、読書や新聞を読む生徒の割合が低く、学年が上がるほど読書量が落ちる傾向があることから、朝読書など「本を読む」機会を確保し、学校司書との連携を図り、図書館教育の充実に努めていきます。ご家庭でも引き続き家庭学習にご協力ください。



学力向上校内研修 (10/2)

【新時代の幕開けを感じました！】

9月20日（金）21日（土）の両日、第51回清流祭が行われました。ご支援をいただきました保護者、地域の方々のご協力に改めて感謝申し上げます。

本年度の清流祭テーマは、「躍進～新時代の幕開け～」でした。実行委員長の「全校の皆さんの発表の良さを最大限引き出したい」という願いのもと、生徒一人ひとりがさまざまな場面で自分自身を発信できた素晴らしい清流祭でした。参観した浅科小学校六年生からは「先輩たちはとてもカッコよかったし、楽しそうでした」「ステージバックもモザイクアートもとてもきれいで驚きました」「中学校に行くのが楽しみになりました」などの感想をいただきました。

浅科の小中学生が同じ空間で第51回清流祭を盛り上げてくれた、とても幸せな時間がありました。この子ども達がふるさとを愛し、第52回、53回・・・の清流祭を力強く創りあげていけるよう教育活動を進めてまいります。今後ご理解とご協力をお願いいたします。



学年別玉入れ



中山道宿場太鼓



モザイクアート (全校制作)